

丸亀支部 活動報告

1 研究主題

『確かな学力を育むための「わかる授業」の創造』—メディア活用の目的を明確にした授業づくり—

2 はじめに

丸亀支部では本年度の研究テーマを『確かな学力を育むための「わかる授業」の創造』とし、メディア活用の目的を明確にした授業づくりについて研究してきた。本年度は、丸亀市教育クラウドの本格的な運用が開始され、各校における教師用パソコンの整備やＩＣＴ機器等の整備が進められた。そこで、昨年度の実践を踏まえ、各種視聴覚機器・教材の活用事例の研究を重ね、より効果的な活用のあり方について考察した。

3 研究計画

(1) 5月1日(水)

丸亀市中学校教育研究会

場所：丸亀市立南中学校

内容：研究組織・研究主題

研究内容の決定

(2) 8月21日(水)

メディア教育部会夏季研修会

場所：eートピア・かがわ

内容：タブレットＰＣ

Windows8

(3) 12月5日(木)

丸亀市中学校教育研究会

場所：丸亀市立綾歌中学校

内容：各中学校の取り組みについて
実践発表

4 研究内容

・各校の研究内容における情報交換
(東中学校)

体育の授業においてパワーポイントで作成したファイルを電子黒板に提示し、実技指導を行っている。実技の流れや注意点を示したり、DVDの動画で実習の模範演技を見せたりすることでイメージを持たせている。また、技術では簡易電子黒板「mimio」を使用し、ホワイトボードを電子黒板として活用している。

(西中学校)

音楽では、パワーポイントのスライドに演奏を貼り付け、マルチメディアとして活用している。理科では、授業用スライドをコンピュータのサーバーに保存し、ネットワークを通して取り出し、授業に利用している。

美術では、1年『印象派と浮世絵』『色彩学習』、2年『ルネサンス』、3年『琳派』の授業でプロジェクターやテレビに作品を提示し、鑑賞や説明に活用している。技術科の授業では、学習・授業支援ソフト『ジャストジャンプ』を活用。「材料と加工」「エネルギー変換」「生物育成」「情報」「計測と制御」「プログラム実習」の各分野でワークシートや授業ソフトを活用している。

(南中学校)

国語では、古典教材でパワーポイントを活用し、資料を提示したり板書として活用したりしている。黒板にスライドを

直接投影し、チョークで重要なポイントを書き込んでいる。理科では、電子黒板をディスプレイとして活用し、DVD教材を使って銀河系や惑星の映像を提示している。美術では、「琳派」の作品を見せながら、作品の特徴や解説を行った。

進路学習の中で参考資料などを電子黒板に提示して活用した。

(綾歌中学校)

理科の授業で、電子黒板をディスプレイとして活用している。技術ではパソコン室にプロジェクターとスクリーンを常備し、提示装置として活用している。また、情報モラル教育にe-とぴあがわの講座を活用し、校内研修を行っている。

学習・授業支援ソフト『ジャストジャンプ』で、ワークシートや授業ソフトを活用している。

(飯山中学校)

道徳の授業では、アルコールやタバコの害について、CM映像などを活用した授業を実施した。

体育科では、ダンス発表会に向けての練習風景を撮影し、その場で動画を確認し、お互いに意見を出し合いながら修正していくという取り組みを行った。自分たちの動きがよく分かり、動作のポイントなどを的確につかむことができたようである。

時間の短縮が図れている。説明する時間の確保や生徒に考えさせる時間の確保など授業の効率化が図られ、授業にゆとりが生まれている。また、生徒の興味・関心を高めたり、意欲的に授業に参加する姿勢を引き出したりすることにも有効であると考えられる。



一方で、さまざまな新しい視聴覚機器や教材が配備されてきているが、どのような機材が配備されたか、また、その操作方法や活用方法などについて、十分理解できていない教員が多いという意見が出された。

今後は、各校における校内研修やメディア教育部会を中心とした教員研修を充実させ、新しく導入された機器や教材についての情報や使用方法を広く教員に伝えていくとともにツールとして活用していく能力をさらに高めていくことが重要であると考え

る。また、丸亀市の教育クラウドの整備とともに情報モラルや、個人情報の取り扱いについてもさらに研修を深めることが重要であると考え

5 考察と今後の課題

パワーポイントで授業用のスライドを作成し、液晶プロジェクターでホワイトボードや黒板に投影して、その上から直接書き込みを行い、板書がわりに利用することで、